

取組の名称		日駒エコキャンパス活動	
活動主体（団体名）		日本工業大学駒場中学・高等学校、鹿島建設株式会社、水研クリエイティブ株式会社	
活動主体（団体名）（フリガナ）		ニッポンコウギョウダイガクコマバチュウガク・コウトウガッコウ、カジマケンセツカブシキガイシャ、スイケンクリエイティブカブシキガイシャ	
取組の内容 （自由記述）	①概要	日本工業大学駒場高等学校・中学校では、ミツバチの飼育、ミミズコンポストの堆肥作り、ホップを使ったアドプト緑化などの取組みによる、循環型の「日駒エコキャンパス」を日駒、鹿島、水研クリエイティブの三者で推進しています。	
	②取組内容を確認できるURL （または資料添付）	https://nit-komaba.ed.jp/life/clubs/clubspage/%E5%9C%92%E8%8A%B8%E9%A4%8A%E8%9C%82%E9%83%A8/ https://nit-komaba.ed.jp/club/%E6%97%A5%E9%A7%92%E3%82%A8%E3%82%B3%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%B3%E3%83%91%E3%82%B9%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/	
	③実施時期、頻度	2010年～現在 通年・週一回程度	
	④活動場所（所在地）	東京都目黒区駒場	
	⑤活動の規模（参加者数）	30名程度	
	⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※	 <p>ミツバチの飼育・観察</p> <p>2024年4月</p>	 <p>ミミズコンポストと堆肥の管理</p> <p>2024年4月</p>
対応する社会課題 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート） <input type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現） <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成） <input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減） <input checked="" type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上） <input checked="" type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上） <input type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換） <input checked="" type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然地保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）	
活用している生態系の機能 （該当する項目にチェック／複数選択可）		<input checked="" type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など） <input type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下） <input type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR） <input type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み） <input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加） <input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供） <input type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成） <input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環）	
貢献の内容 （自由記述）	①人間の幸福に対して	日駒エコキャンパスを通して、社会課題に応える緑化空間を創出しています。地域の自然環境の保全・再生、生活環境の改善、教育・触れ合いの機会の創出、そこから得られる恩恵への理解・普及の推進など、人間活動と生物多様性の両方に利益をもたらす取り組みを実施しています。コーヒー滓をミミズコンポストで堆肥化し、農園の野菜や屋上緑化空間で蜜源となるハーブを育成し、はちみつ・蜜蝋・ホップを使った副産物づくりと地域への還元など、緑化空間における環境・食の教育プログラムを実施しています。	
	②生物多様性に対して	日駒では在来種のニホンミツバチを屋上で飼育し、隣接する屋上緑化地で蜜源となるハーブの育成、飛来種子による在来草地の創出しています。在来の生物種の保全、花粉媒介と副産物の供給等を通じて、生物多様性と生態系サービスの向上を図っています。 また、ミツバチ飼育、アドプト緑化、ミミズコンポストなどの日駒エコキャンパスの取り組みを題材とした研究活動（園芸養蜂部）、中学生向けの授業も実施し、生物多様性・生態系サービスの理解・普及にも取り組んでいます。	